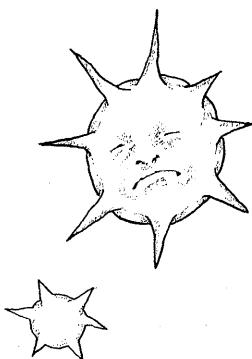




特集へこだわる<

こだわりと情緒

藤原正彦



数学者には、こだわる人が多いですね。数学の世界は知恵比べのようなもので、わからない問題を誰が一番に解けるかと、世界中の数学者が考えています。何年もかけて、寝ても覚めても、風呂の中でも、電車の中でも、歩きながらでも、どこでも考え続ける。そうしないと解けないので。ずーっとこだわり続ける。食卓についても、何を食べているのか解らなくなる程こだわって、最後は、頭脳ではなく、もうほんとんど念力で解くようなもののです。独創は、こだわらないことには生まれてこない。異常なこだわりです。最近の学

特集〈こだわる〉 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

生は、こだわりがなくなつてきている。これは憂慮すべき事と思います。

こだわるには、こだわるだけの動機が必要で、例えば、数学の研究というのには、山の頂きにある、美しい花をとりに行くようなものなのです。その花をとろうと必死でこだわる訳です。動機として、まず、その花の美しさに感動しなくてはいけない。感動すればする程、力が出てきて、千尋の谷に行手を阻まれても、熊が出て逃げ帰つても、無限の樹海に踏み込んでも、つまり、何度も挫折に会つても挑戦し続ける事ができる。感動する心——情緒——に支えられて挑めるのです。研究は、失敗するのが当たり前、それでも、こだわり続ける事ができるのは、知識や、頭の良さではなく、情緒、例えば、美しいものに感動する力が強いかどうか、というようなことです。数学は頭の良さだと思われていますが違います。IQ 200を越えている人でも数学者になれるとは限らないが、IQ 138で天才数学者もいる。この天才数学者は、ある夜、勉強していたら美しい数学の定理を見て、感動して涙を流すというような、感動力の持ち主です。

情緒をどのように育てるか、これはとても大きな問題で難しい事ですね。今の世界中の教育論の誤りは「良い事の積み重ねは良い事」という事でしょう。卑近な例ですが、三歳で、ピアノを習う事、音に慣れるし絶対音感もつくし、これは良い事です。三歳でヴァイオリン、これも良い事。三歳で水泳、これも、泳ぎを覚えるには良い事。三歳で英語、これも良い発音になるし良い事です。しかし、全部やつてしまふと、子どもは将来、伸びな

くなる。情緒力が育つ時がないからです。やっぱり、野山を走り回ったり、泥遊びをしたり、友達と殴り合いをしたり、兄弟で、おやつの取り合いをする事が必要なですね。知識を教える事も良い事です。知識はないよりもある方が良い。でも、そればかりだとダメになります。だから教育は難しいですね。

情緒を育てる、こだわりの力を育てる事は知識とは無関係です。しかし、「教育」の果たす役割は大きいと思います。例えば、夕方、子どもと一緒に買い物に行って、美しい夕焼けを見た時、母親が立ち止まって、「ああ、美しい夕焼けだ」と感動する。又は、美しい音楽を聴いて感動する親の姿を見て、子どもも、「ああ美しい」と感じるようになるのではないかでしょうか。こだわりにしても、一生懸命何かをする、又は考え続ける事を褒め、励ましてやる必要がある。僕が小学三年生の時、父は「一から十まで足していくつになるか」と、僕に問題を出しました。普通に順番に足していく方法では、父は褒めてくれないのを知っていたので、違う方法で、ここだわって考えたものです。そしてできたら、すごく褒めてもらいました。

今、日本に、こだわって考える人、考え続ける人が本当にいなくなつた。政治や、経済でも、独創的なアイデアは、個人が汗水たらして考え続け、こだわりによつて生まれるもので。ディスカッションは修正する場です。国際貢献でも、貿易黒字でも、誰かが骨身を削るようなこだわりで考えれば、良い考えが出るのに、誰もしないですね。

特集〈こだわる〉 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

こだわりの方向が大切ですね。例えば、乞食が、おなかがすいて、死にそうになり、パンを盗んだ。それをみていたAは、「日本は法治国家である。彼の窃盗行為は法律を犯しているので、警察へ通報しよう」、Bは、「彼はパンを盗まないと死んでいた。人間の命は一片の法律よりも重い。だから見て見ぬふりをしよう」と考えた。AかBか？ 出発点でどちらを選ぶかで方向は全く違う。この判断の元になるのが情緒力なのです。情緒力が育っていないと、こだわる方向がままならなくなります。何も見えない暗い海にのり出した船に喻えると、情緒は、船頭の方向感覚です。論理的思考力は、船頭の腕力。知識は、しっかりととした船体です。情緒、論理的思考力、知識、どれが欠けても、船は進まないのです。今の日本では、知識は過剰な程、論理的思考力は、それ程でもないが、まあまああるでしょう。そしてこの二つは、誰もが強調している。が、しかし、方向を決めるべき情緒の大切さが言われていない。だから、「こだわると怖い」という迷信が生まれるのでしょう。変にこだわるとヒットラーになってしまいますからね。彼は非常に頭のいい人でしたから、ユダヤ人は虐殺すべきというこだわりの論理の筋は通っていたけれども、情緒がおかしいから方向がおかしくなっていったのです。こだわりと、こだわりの方向を決める情緒を一对にして、きっちり育てる事が重要です。なつかしさ、不幸な人に対する敏感さ、美しいものに感動する力、勇気、愛国心、正義感など、高度な情緒を育てておかなくてはなりません。夕焼けや林の間から見上げる青空の美しさと共に感じたり、障害を持つた子を手助けする大人の姿を示したり、情緒を育む努力をするのです。自然には出て

こない、教育しないと育まれないものだと思うのです。

母親の視野は、三年先位までです。大切なのは、大学を終え、世の中に出てから伸びる人間をつくる事です。世の中には、論理的に正しい事はたくさんあり、その中からどれを選ぶかを試されるのです。職場で、重要な判断の岐路に立った時、それは、その人の人間性、情緒力が試されているのです。学問の世界に進んでも、この情緒力は一番重要です。与えられた問題がでても、新しい問題を作ったり、見つけられないとだめです。独創力、判断力、人間としてのスケール、すべて情緒力で決まります。

どういう家庭に育つたか。どういう先生に出会つたか。どういう読書をしたか。どうい
う恋愛をし、どういう失恋をしたか。どのような悲しい別れをしたのか……すべてがその
人の情緒となつて、判断力になるのです。そして、こだわりの方向を決める、出発点の選
択に、影響するのです。世の中に早熟な天才の例はいくらもあるが、大成した話はそれ
ほどきかない。僕は当たり前だと思う。情緒を育てる子ども時代を飛び越しているのだか
ら。

脳生理学で、論理、知識の部分は傷ついていないのに、感情の部分のみが傷ついている患者は判断ができないそうです。医学的には証明されかけています。

患者は判断ができないそうです。医学的には証明されかけています。
これから、独創的な考えを持ち、判断のできる人間を育てるには、情緒力が必要と思
います。こだわりが大切で、その方向性を決めるのが情緒です。（談）